

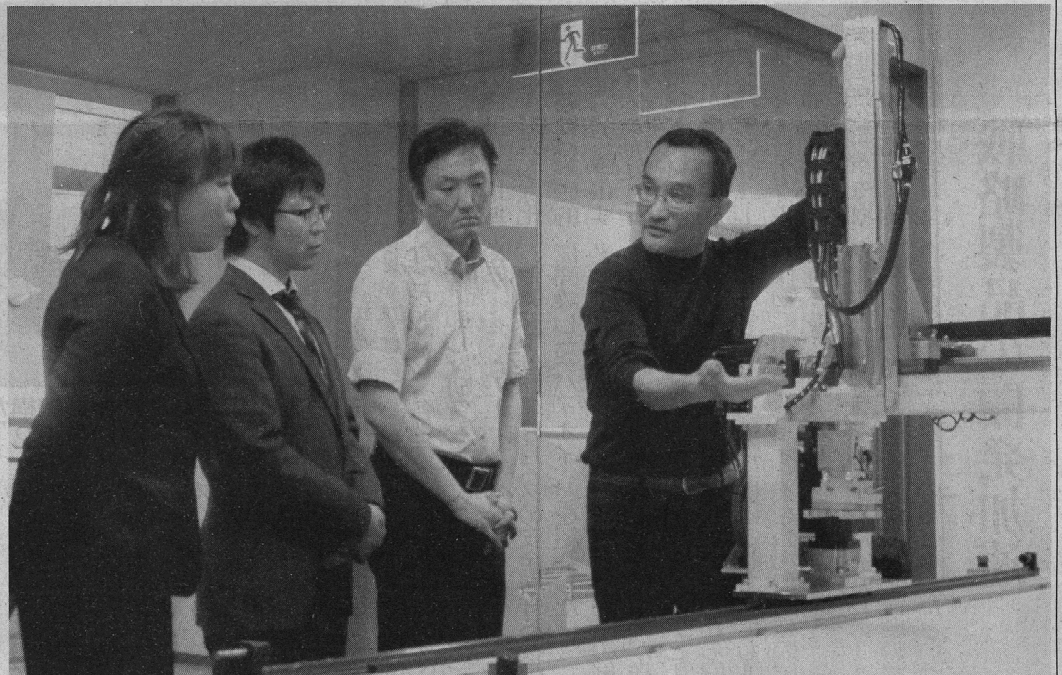
# 人材育成に向け始動

ロボットやIoT(モノのインターネット)に精通した人材育成に向け、多様な取り組みが関西で動きだす。在阪ロボット開発シンクタンクがITとモノづくりに通じた技術者育成をスタート。大阪府池田市などの小中学校では人型ロボットを用いたプログラミング教育が始まり、大阪工業大学はロボティクス&デザイン工学部を設ける。労働人口が減少する時代、ロボット・IoT化の重要性が増す中、扱える人材育成が日本の将来を左右する。

## 日本の産業界を底上げ

中小ロボット関連企業で制御の基礎を学び、今、工場自動化(F A)機器とIT機器業などが参加するシンクタンクがITとモノづくりに通じた技術者育成をスタート。大阪府池田市などの小中学校では人型ロボットを用いたプログラミング教育が始まり、大阪工業大学はロボティクス&デザイン工学部を設ける。労働人口が減少する時代、ロボット・IoT化の重要性が増す中、扱える人材育成が日本の将来を左右する。

## F A・I T両面での理解が重要



i Ro o B OはI A T CでI Tとモノづくりに精通した技術者を育成する

好評。20代プログラマター機能の強化を進め、1は「両方のことが考るダイヘンの金子健太郎執行役員F Aロボットにもつながら」と、視ト事業部長は、「人材野が広がった様子で親不足は切実な課題。経験も必要で、しっかりと溶接ロボット首位でシステムインテグレーション」と指摘する。